

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大森ハイツ建替え計画	階数	地上10F、地下1F
建設地	秦野市今川町1-2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、飲食店、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2016年3月23日
敷地面積	675㎡	作成者	株式会社GA建築設計社
建築面積	556㎡	確認日	
延床面積	3,761㎡	確認者	



ださい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 本物件は秦野駅のほど近くに位置し、1階~3階が貸店舗、4階以上に共同住宅という構成の複合ビルである。駅からのアプローチを配慮しまちなみに調和させている。更に高効率な設備機器を採用し省エネルギーに配慮し環境に配慮した建物としている。		その他 0
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用し空気質環境に配慮する	Q2 サービス性能 ・階高を十分にとり更新性に配慮する	Q3 室外環境(敷地内) ・限られた敷地の中にできるだけ多くの樹木を植栽し温熱環境や生物環境の保全に配慮する
LR1 エネルギー ・等級4を確保し断熱性能を高めて省エネルギーに配慮する ・高効率な設備機器を採用し省エネルギーに配慮する	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材を使用した内装材を採用し省資源に配慮する	LR3 敷地外環境 ・ディスプレイを設置し廃棄物処理負荷の抑制に配慮する ・屋外照明の対策を行い、光害の抑制に配慮する

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される